

県立博物館応援プロジェクト



現状・課題

- 県立博物館は、1963年に和歌山城公園内二の丸跡に美術館として建てられた旧美術館を1971年に改装のうえ和歌山県立博物館として開館。1994年に和歌山城前・吹上の地に、世界的建築家・黒川紀章氏の設計で新築移転し、30年以上が経過しました。
- この間、本県の文化の拠点として、地道な研究や収集と、その成果としての展覧会を精力的に展開してきました。
- 今後も「文化の拠点」としての存在感に磨きをかけ、より多くの方々に訪れていただける博物館として活動を継続するため、老朽化した設備・機器等の更新や鑑賞環境の充実が重要です。

取組

- 文化財の魅力をより一層わかりやすく伝えるため、展示室内の環境を改善
- 国内外を問わず、多くの利用者の作品鑑賞をサポートするミュージアムガイド等を整備
- 高齢者やこども、障がいのある方など、全ての方が利用しやすい施設環境を整備
- 収蔵する文化財の修復等を進め、貴重な作品を後世に継承

寄附金の使途

- 多言語対応のデジタル音声ガイド
- 博物館の機能向上、触れられるレプリカの製作
- 作品の修復や刊行物の制作

